



採材支援装置および制御プログラム

～ 採材シミュレーションソフトウェア ～

セールスポイント

- ◆ 三次元レーザースキャナで測定した森林の点群データから立木一本ずつのデータを取り出し、採材（立木を伐り倒して丸太に切り分ける作業）前の段階で木材の最大矢高（曲がり具合）が算出できます。

材長の設定等

曲がり等級区分

森林の点群データ 立木リングデータ 採材シミュレーションソフトウェア

株式会社woodinfoの点群解析システムDigital Forest®より

- ◆ 立木のまま曲がりの等級区分を取得することができ、伐採前に森林全体の品質管理が可能です。

発明の特長と活用場面

具体的な活用場面

- ◆ 林業事業体等における森林の品質管理、在庫管理が可能です。

発明の特長

- ◆ 実際に測定した結果との高い整合性
- ◆ 最大矢高の計算方法は伐採現場に合わせた4つの計算モードが選択可能

① 標準モード

丸太の長さを一律に決めて採材し、それぞれの曲がり区分を判定

② 直材優先モード

一般材の丸太の直材を多く採材する方法の計算

③ 長尺材優先モード

規格外の長尺材丸太を探す方法
公共・大規模建築向けの特殊用途に応じた独自の曲り基準（規格外）により高価格と想定されるものを探索することが可能

④ 最適採材モード（別ソフト）

丸太の価値が最も高くなる採材方法の計算

基本情報

発明の名称	採材支援装置および制御プログラム		
特許権者	広島県		
出願番号	①特願2015-152832 ②特願2018-004525	出願日	①平成27年 7月31日 ②平成30年 1月15日
特許番号	①特許第6300211号 ②特許第6317052号	登録日	①平成30年 3月 9日 ②平成30年 4月 6日
実施許諾実績	■有（1件） □無	事業化実績	□有 ■無
共同研究	■要相談 □不可	サンプル提供	□可 ■不可
問い合わせ先	西部工業技術センター 生産技術アカデミー		TEL 082-420-0537